

岡山大学大学院環境生命自然科学研究科博士論文審査基準

令和6年9月26日 大学院環境生命自然科学研究科代議員会議承認

1. 博士論文申請者は、岡山大学および環境生命自然科学研究科のディグリー・ポリシーを満たすことは勿論、社会において高度の専門性を生かし、自立した研究者として研究活動に従事しうる研究能力と、その基盤となる豊かな学識を有していること。
2. 申請の博士論文は、事実に基づいた信頼に足るデータとそれらの真摯な考察を基に、明快かつ論理的に書かれていること。
3. 研究成果は、独創的で新規性に富み、価値ある結果を含んでいること。
4. 研究が共同研究としてなされたものである場合、研究遂行が申請者によって主導的になされ、かつ重要な役割を果たしたことが認められること。
5. 申請者を著者として含む参考論文が添えられていること。

<参考;英語併記>

岡山大学大学院環境生命自然科学研究科博士論文審査基準

Evaluation criteria for doctoral dissertations at the Graduate School of Environmental, Life,
Natural Science and Technology

1. 博士論文申請者は、岡山大学および環境生命自然科学研究科のディグリー・ポリシーを満たすことは勿論、社会において高度の専門性を生かし、自立した研究者として研究活動に従事しうる研究能力と、その基盤となる豊かな学識を有していること。

Applicants for a doctoral dissertation must not only meet the degree policies of both Okayama University and the Graduate School of Environmental, Life, Natural Science and Technology, but also have the research ability and a wealth of academic knowledge to be an independent researcher who can utilize advanced professional skills in society.

2. 申請の博士論文は、事実に基づいた信頼に足るデータとそれらの真摯な考察を基に、明快かつ論理的に書かれていること。

The submitted doctoral dissertation must be described in clearly logical term by the candidate's own ideas and judgment based on reliable data and honest discussions.

3. 研究成果は、独創的で新規性に富み、価値ある結果を含んでいること。

The results of research must be original, novel and include valuable ones.

4. 研究が共同研究としてなされたものである場合、研究遂行が申請者によって主導的になされ、かつ重要な役割を果たしたことが認められること。

When the research was conducted as a collaborative research, it must be proved that the research was led by the applicant who played an important role.

5. 申請者を著者として含む参考論文が添えられていること。

Research paper(s) which the applicant as the principal author wrote must be attached as references paper(s).